

題材 「ゴミになったものはその後どうなるの？～ゴミのゆくえ～」

時間中の第5時

(1) 学習のねらい

前時で長野市のごみのゆくえを予想し、ごみがどのようにして最終処分・資源化されるのか、その過程に注目し始めた子どもたちが、焼却灰の行き先グラフを読み取ることを通して、可燃ごみが燃やされた後に埋め立てや熔融利用される中で、様々な問題があることに気づき、その問題から可燃ごみを減らす必要があると考えることができる。

(2) 本時の学習材

焼却灰の行き先グラフ

- 資源化と最終処分について考える活動を行った後、子どもたちは、焼却灰の資源化が良いことであると考える一方で、最終処分である埋め立ては良いものではないのではないかと予想するだろう。そこで、本学習材を提示する。
- 本学習材は、可燃ごみを焼却した際に出てくる焼却灰が後にどう処理されていくか、その行き先を示した円グラフである。このグラフを発問とともに読み取っていくことで、子どもたちは埋め立ての問題や資源化の問題について気づき、可燃ごみを減らさなければならない（分別しなければならない）と考えることにつなげることができる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 前時の振り返りと本時の見通しを持つ	・ゆくえ分かるよ！ ・スラグって何？ ○資源化または最終処分へってところをもっと詳しく知りたいな 学習問題 可燃ごみは減らした方がいいの？	10'	○前回の復習として可燃ごみのゆくえを見ていこう。 ・ゴミのゆくえを動画で見せる（ICT） ○左の意識を捉えたところで学習問題を提示 ・発問をしていく 学習材
展開	2 グラフを読み取り、問題を探る	・環境のために減らした方が良いんじゃない？ ・資源化されてるより埋め立てされてる方が多いよ ・なんで多いんだろう ・資源化は良いことだな ○埋め立て地の土地、資源化のコスト、環境のこと、色んな問題があるんだね。 学習課題 可燃ごみの処理における問題をグラフから読み取り、可燃ごみを減らす必要性に触れよう。	30'	焼却灰の行き先グラフ ・学習材はパワーポイントにて表示する 評価 問題から可燃ごみを減らす必要があると考えることができたか。
終末	3 まとめと振り返り	・ ・可燃ごみのゆくえについて深く知った ・埋め立ての土地問題が分かった ・資源化するのにお金がかかるんだね ○可燃ごみを減らす必要があるんだね。	10'	○ワークシートを配り、そこに自分なりの答え「減らした方が良い、減らさなくてもよい」を書き、そう思う理由も書いてもらう。